



評議員会

- 平成 29 年 5 月 30 日 (木) 平成 28 年度事業報告及び計算書類及び財産目録の承認、評議員の選任、理事及び監事の選任

理事会

- 平成 29 年 5 月 15 日 (月) 平成 28 年度事業報告及び附属明細書、計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認、評議員会の招集
- 平成 29 年 5 月 30 日 (木) 専務理事選定
- 平成 29 年 10 月 17 日 (火) 平成 29 年度補正予算
- 平成 30 年 2 月 7 日 (水) 平成 30 年度事業計画及び収支予算、他

委員会

①事業評価・事業企画委員会

- 平成 29 年 8 月 18 日 (金) 平成 28 年度事業評価、平成 29 年度事業中間報告、平成 30 年度事業計画

②事業運営委員会

- 平成 29 年 12 月 22 日 (金) 平成 29 年度事業中間報告、平成 30 年度事業計画 (案)

★公益事業 (143,090,598円 サポイン事業除く 104,889,598円)

PRODUCT (売れるモノづくり)

プロダクト事業 (32,698,684円)

1 ジャパン・ヤーン・フェア (JY) & 総合展「THE 尾州」の開催 (31,526,555円)

「糸」の展示会を開催することにより、川上企業と川中企業の出会いの場を創出し、素材からの差別化商品の新開発を支援した。また、総合展「THE 尾州」を併催し、尾州マフラープロモーションと題し、身近なマフラーを使って尾州の魅力を発信した。

◆会 期：平成30年2月21日(水)～23日(金)

◇会 場：一宮市総合体育館

◇出展者：原糸メーカー及び糸の取扱業者56社、及び繊維関連機器業者4社

◇総合展：尾州の魅力発信、尾州産地展(8社3団体)

◇来場者：5,578人

2 福祉衣料に関わる開発支援 (432,917円)

尾張繊維技術センター、一宮特別支援学校、地元企業との連携により、福祉向け商品開発の支援を行った。

開発商品：甚平

3 ファッション・テクノ工房 (739,212円)

コンピュータによる柄シミュレーションソフトを活用した見本製作の支援を行った。

見本作製703枚(延べ利用社数200社)

PERSON (人材育成)

パーソン事業 (13,299,875円)

1 繊維産業人材育成セミナー「尾州インパナ塾」(2,314,585円)

大学、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター、FDC 匠ネットワーク等との連携を図り、産地の将来を担う人材育成を図った。

◆期 間：平成29年4月8日(土)～平成30年2月6日(火)

◇受講修了者：16名(正規受講者14名、部分受講者2名)

2 各種セミナー (1,193,682円)

(1) ファッショントレンドセミナー(年2回)

モノづくりにおける企画開発に活用するため、トレンド発信企業であるネリーロディ社(フランス)のファッショントレンド情報を提供した。

◆期 日：平成29年6月8日(木)

◇テーマ：「2018/19秋冬ファッショントレンドセミナー」

◇講 師：(株)ネリーロディ・ジャポン 代表取締役 城山 敦子 氏

◇会 場：FDC

◇参加者：55名

◆期 日：平成29年11月10日(金)

◇テーマ：「ファッショントレンドセミナー」

◇講師：(株)ネリーロディ・ジャパン 代表取締役 城山 敦子 氏

◇会場：FDC

◇参加者：53名

(2) マーケットセミナー（年4回）

顧客基点で分析する、アパレルのマーケット情報を提供した。

◆期 日：平成29年4月27日（木）・・・参加者42名

平成29年7月20日（木）・・・参加者41名

平成29年11月21日（火）・・・参加者33名

平成30年2月9日（金）・・・参加者32名

◇講師：(株)プレール 代表取締役社長 栗山 志明 氏

◇会場：FDC

(3) 技術セミナー

I 繊維技術セミナー

◆期 日：平成29年7月7日（金）

◇テーマ：①「機能性繊維について」

◇講師：KBセーレン(株)営業開発室 工業資材開発部長 安田 直之 氏

◇テーマ：②「最近の繊維用機能性加工剤の開発動向と業界の動き」

◇講師：金崎技術士事務所 代表 金崎 英夫 氏

◇テーマ：③「超早期診断技術開発プロジェクト成果説明及びサテライト見学会」

◇講師：尾張繊維技術センター 主任研究員 田中 利幸 氏

◇会場：尾張繊維技術センター 4階技術研修室

◇参加者：65名

II 研究成果普及講習会

◆期 日：平成30年3月16日（金）

◇基調講演：産業用繊維資材について

◇講師：ユニチカ(株) 産業繊維事業部 繊維資材生産開発部
第一グループ 室谷 浩紀 氏

◇事業紹介：新あいち創造研究開発補助金の概要

◇研究成果普及講習

テーマ：無縫製ニット製品設計技術の改良による実用化研究、アクチュエーター 繊維の製造技術に関する研究、天然繊維の複合化における機能性付与に関する研究、ABS樹脂材料の実暴露と促進耐光性評価の相関

◇講師：尾張繊維技術センター職員

◇会場：尾張繊維技術センター

◇受講者：45名

(4) 新規採用者向けセミナー

◆期 日：平成29年6月15日（木）

◇テーマ：「素材と糸」「染色と仕上げ」「織物とニット」などの基礎知識
及び施設見学

◇講師：尾張繊維技術センター職員

◇会場：FDC、尾張繊維技術センター

◇受講者：38名

(5) トрендセミナー（共催）

◆期 日：平成29年10月26日（木）

◇テーマ：2018-19 秋冬カラー&素材傾向

◇講師：OFFICE KURUMA 車 純子 氏

◇会場：岐阜毛織会館

◇受講者：70名

3 学生のための人材育成 (4,878,316円)

次世代を担う学生に繊維産業の魅力と興味をつなげ、地場産業の人材の確保を図った。

(1) 翔工房

学生のアイデア等を基に、「FDC 匠ネットワーク」の技術指導により、学生自身が糸から生地を製作し、その生地を用いてアパレル製品にすることにより、ものづくりを通じた人材育成を図った。

◆期間：平成29年5月18日(木)～30年2月23日(金)

◇受講生：25名(19校—大学院1校、大学7校、短期大学1校、専門学校10校)

◇講師：匠ネットワーク(16名)

(2) インターンシップ

ファッション産業を担う学生を対象に、繊維産業の魅力を伝えることにより、地場産業への人材確保を図った。

◆期日及び人数	平成29年8月1日、9日、10日	大学3年生7名(椋山女学園大学)
	平成29年8月17日～23日の平日	大学3年生2名(名古屋学芸大学)
	平成30年2月21日～23日	大学3年生5名(〃)

(3) 学生産地研修会

学生を対象に、紡績、製織、染色整理等の工場見学を行うなど、尾州産地やファッションビジネスについて研修会を開催した。

◆期日：平成29年8月3日(木)・4日(金)

◇内容：繊維関連講座及び工場見学(紡績、製織、染色整理)

◇受講者：27名(大学院・大学7校13人、専門学校9校14人)

(4) 素材講座

◆期日	平成29年6月11日(日)のこ座(平松毛織株)	受講者9人
	平成29年7月20日(木)名古屋モード学園	受講者10人

◇テーマ：尾州産地のものづくり

4 尾州の匠ものづくりリレー事業 (4,913,292円)

織布工場などを借上げ、工場主により、実践的な製織の技術指導を行い、自らテキスタイルの企画・製造を行う人材育成を図った。廃業事業者より織機等設備の移設を行い、若者の集う場所の整備を進めた。

◆期間：平成29年8月～平成30年3月

◇受講者：3名(一般)+7名(名古屋芸術大学)

◇工場：近藤毛織工場、岩正毛織、葛利毛織工業株、木玉毛織株

PROMOTION (ビジネスチャンスの創出)

プロモーション事業 (97,092,039円)

基本事業分(サポイン事業除く) (58,891,304円)

1 東京展の開催 (39,206,780円)

トレンド情報発信企業(仏：ネリーロディ社)やJFW((一社)日本ファッション・ウィーク推進機構)のトレンドコーディネーターと提携し、新商品開発(素材開発)を行い、東京・青山で尾州産地展を開催した。

◆Bishu Material Exhibition (2018 春夏) <BME>

& 尾州染色整理加工展

◇会 期：平成 29 年 4 月 18 日 (火) ~20 日 (木)

◇会 場：TEPIA 3 階エキシビジョンホール (東京都港区北青山)

◇出展者：16 社 (素材 1,300 点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材 197 点)
染色整理 7 社 (各社の加工技術を紹介)：岐セン(株)、木曾川染絨(株)、(株)ソトー、
茶久染色(株)、艶清興業(株)、藤井整絨(株)、森保染色(株)、

◇来場者：1,758 名 (サンプルリクエスト数 13,562 点)

◆Bishu Material Exhibition (2018/19 秋冬) <BME>

& 尾州・ヤーン・フェア<BY>

◇会 期：平成 29 年 10 月 11 日 (水) ~ 13 日 (金)

◇会 場：TEPIA 3 階エキシビジョンホール (東京都港区北青山)

◇出展者：16 社 (素材 1,430 点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材 180 点)
糸業者 10 社：浅野撚糸(株)、カワボウテキスタイル(株)、近藤(株)、三幸毛糸紡績(株)、(株)滝善、豊島(株)、豊島紡績(株)、(株)ニッケファブリック、(株)長谷川商店、
モリリン(株)

*今回新たにテキスタイル業者と糸業者とのコラボ生地を 13 点展示

◇来場者：1,941 名 (サンプルリクエスト数 14,311 点)

2 海外販路開拓支援事業 (8,771,062 円)

ビジネスのグローバル化に対応するため、尾州発メード・イン・ジャパンの PR と海外販路開拓の拡大を図った。

(1) Milano Unica 2018/19 秋冬 (イタリア)

◆会 期：平成 29 年 7 月 11 日 (火) ~13 日 (木)

◇会 場：フィエラ・ミラノ・ロー (ミラノ市)

◇出展者：5 社 1 団体 (計 7 社)：長大(株)、遠山産業(株)、中伝毛織(株)、(株)ヒラノ、みずほ興業(株)、チーム岐阜 (岩田健毛織(株)、ファインテキスタイル(株))

◇ブース来場者：131 社 (サンプルリクエスト数 延 88 社 853 点) 成約件数：6 件

(2) インターテキスタイル上海展

◆会 期：平成 29 年 10 月 11 日 (水) ~13 日 (金)

◇会 場：ナショナル・エキシビジョン&コンベンション・センター

◇出展者：5 社：長大(株)、遠山産業(株)、早善織物(株)、(株)ヒラノ、みずほ興業(株)

◇ブース来場社：102 社 (サンプルリクエスト数 延 88 社 763 点) 成約件数：4 件

(3) ジャパン・バーチャル・パビリオンへの参加支援

米国のマッチングサイト「ル・スーク」に登録し、企業のグローバル化への支援を行った。

参加者：3 社 1 団体 時田毛織(株)、中隆毛織(株)、早善毛織(株)、尾西毛織工業協同組合

サンプルリクエスト 93 件

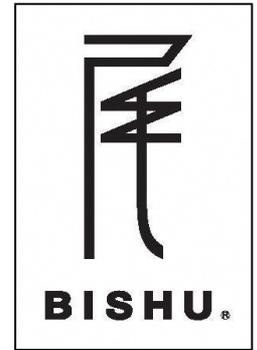
オーダー (着分含む) 13 件

3 尾州トータルイメージアップ活動 (49,114,197 円)

基本事業分 (サポイン事業分除く) (10,913,462 円) ※サポイン事業 38,200,735 円

(1) 産地アピール事業+2A (APPEAL・AMUSE) 事業

- ・登録商標「尾州マーク」の使用規程運用(H28.4.1~)により、尾州の認知度と存在価値を高め、販路拡大を図った。
平成30年3月31日現在263件承認
頒布 下げ札123,573枚、織ネーム52,262枚
- ・尾州プロモーション動画及びWebサイトを制作した。
- ・Webマガジン「T&F」を展示会来場者へも配信中(配信先:6,250名)



+2A (APPEAL・AMUSE) 事業

- ・杜の宮市
 - ◆期 日:平成29年5月7日(日) 真清田神社
 - 内 容:尾州マーク付ポーチなど尾州テキスタイルグッズを販売
- ・いちのみや物産展
 - ◆期 日:平成29年7月28日(金)~29日(土) iビル7Fシビックホール
 - 内 容:羊毛クラフト教室開催 参加者52名
- ・手織り教室
 - (前期)期 日:平成29年6月13日(火)~7月4日(火)週1回 計4回
 - 会 場:FDC 参加者17名
 - (後期)期 日:平成29年11月1日(水)~11月22日(水)週1回 計4回
 - 会 場:稲沢市産業会館 参加者15名
- ・ファミリー・クラフト教室 「愛知の発明の日」関連事業
 - ◆期 日:平成29年8月1日(火)
 - 会 場:FDC及び尾張繊維技術センター
 - 内 容:①~手織体験~ミサンガ作り、②尾張繊維技術センターの見学
 - 参加者:20組40名(小学生とその保護者)
- ・ものづくり現場学習(中部科学技術センター主催)
 - ◆期 日:平成29年8月22日(火)
 - 会 場:FDC
 - 内 容:①DVD鑑賞(毛織物ができるまで)、②ミサンガ作り
 - 参加者:29名(小学4年生から中学2年生)
- ・138ひつじフェスタ
 - ◆期 日:平成29年10月1日(日)
 - 会 場:i-ビル前
 - 内 容:尾州マーク付ポーチなど尾州テキスタイルグッズを販売
- ・イオンモール(キリオ)及びイオン木曾川店との連携による尾州産地PR等
 - ◆期 日:通年
 - 内 容:改装工事壁面やリニューアル店舗での尾州生地の展示装飾、
FDCインスタグラム開始キャンペーンによる尾州PRやイベントでのミサンガ教室開催
- ・一宮市出前講座「いちのみや出前一聴」
 - ◆期 日:平成29年9月28日(木) ケアハウスいわと
 - 内 容:尾州産地のものづくり講話 参加者21名
- ・尾州マフラー等出張販売
 - ◆期 日:平成29年11月30日(木)一宮市立市民病院
 - 平成30年1月11日(木)一宮西病院
 - 平成30年1月18日(木)一宮市立木曾川病院

平成 30 年 1 月 25 日 (木) 稲沢厚生病院

内 容：尾州マーク付マフラーやブランケットを出張販売

- ・総合展「THE 尾州」会場に地場産品販売コーナーを設置

◆期 日：平成 30 年 2 月 21 日(水)～23 日(金)

会 場：一宮市総合体育館

内 容：東北物産展及び布の市

- ・繊維製品の常設展示 (FDC1 階)

春夏、秋冬の年 2 回、組合等を通じて協力企業から生地・糸を展示紹介した。同様に春夏、秋冬開催の BME 活用のガーメントを展示した。

ジャパン・テキスタイル・コンテスト (JTC) のグランプリ作品等を展示し JTC の PR を図った。

(2) 製品化推進事業

デザイナービジネスマッチング

(一社) アパレル・ファッション産業協会を通じて募集したデザイナーに対し、3 年間産地訪問費用等を助成し、ビジネスマッチングの支援を図った。

対象者：6 名 (うち 3 名は昨年度より継続)

平成 28 年度：大島郁、岡本順、森下慎介

平成 29 年度：中井英一朗、北澤武志、安藤大春

(3) 産地活性化支援事業

- ・匠ネットワークの匠メンバーとインパナ塾卒業生との共同開発支援
- ・尾州産地を考える会(ツイードラン尾州)への協賛
- ・サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)について、事業管理機関として国の採択を受け、新たな需要創出を目指す研究開発事業を支援した。(「◎参考」参照)

★収益事業

貸館事業 (25,088,653 円) (収入額 13,346,778 円)

(1) 営業日：年末年始(12月28日～1月4日)の休館日及び臨時休館日を除く毎日

(2) 運営経費：光熱水費、賃借料、保守管理費、修繕費等

○事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

◎参考

平成 29 年度戦略的基盤技術高度化支援事業(通称「サポイン事業」)の事業管理機関(経済産業省補助採択)

事業内容：セルロース系繊維を用いた飼料用ラップネットの利用技術の開発

研究実施機関：松山毛織(株)(総括研究代表者(PL))、KB ツヅキ(株)、(国大)豊橋技術科学大学、広島県立総合研究所畜産技術センター、

計画実施期間：平成 29 年度～平成 31 年度

事業費総額：3 年間計 約 1 億円 補助率：対象経費の 2/3 又は定額

*事業管理機関は国との総合的な連絡窓口となり、補助事業の遂行・経費管理を行う機関

*平成 29 年度交付決定額 43,143,395 円

交付確定額 38,835,966 円 間接補助額 37,970,195 円